

ヤマサクラ

2023 年（令和 5 年）10 月 23 日（月）発行

湯の岳山荘サウンディング調査

理事長 木田章一

湯の岳山荘は、2023 年 7 月 10 日から 28 日までサウンディング型市場調査がありました。サウンディング調査とは、民間事業者との対話を通じ、当施設の民間譲渡を含めた今後の利活用の可能性を把握するとともに、今後、譲渡に向けた公募を検討するにあたり、民間事業者の参加しやすい公募条件を把握するため実施するものです。

いわき市では公共施設、約 1,300 のうち半数を統廃合したいとのことで、今後多くの施設が廃止になります。

当施設は昭和 52 年（1977 年）8 月に、いわき市初の有料道路「湯の岳パノラマライン」の開通に合わせて「林業研修センター湯の岳山荘」が開設されました。昭和 58 年（1983 年）には「森林休養施設湯の岳山荘」が増設されました。

平成 18 年（2006 年）からは、当 NPO が指定管理者となり、ここに事務所を置き管理してきましたが来年指定管理者はおかず市の管理となりますので、宿泊はなくなります。

当施設は築 46 年になりますが、これまで数多くの地震や風雨があっても頑丈で、まだまだ長持ちできます。

近年の利用者は、自然観察会や環境教育学校支援、チェーンソー・刈払機取扱研修等と年間約 2,700 名もの利用があります。また、自然エネルギー施設（ソーラー発電施設、風力発電施設、水車、温水施設）も整備し、ここにすれば自然エネルギーの多くを学ぶことができ、環境教育の場として大きな価値があります。

このような施設は市内どこにもありません。そこで、この施設をどうすれば存続できるかを検討中です。どうかまだご覧になっていない方は、是非おいでください。

そして、どうか皆さんのご協力ご支援をお願いいたします。



【参考に湯本町に関する年表を記載します】

- ・昭和 39 年（1964）常磐市「湯の岳開発観光計画」を打ち出し、その後、いわき市・福島県が「常磐湯の岳観光道路」整備が始まる。
- ・昭和 52 年（1977）「湯の岳パノラマライン」開通
- ・ 〃 「林業研修センター湯の岳山荘」開設
- ・昭和 55 年（1980）「常磐ワールドサファリ」オープン
- ・昭和 59 年（1984）いわき市石炭・化石館開館
- ・昭和 58 年（1983）「森林休養施設湯の岳山荘」開設
- ・昭和 60 年（1985）バンガロー開設
- ・ 〃 「湯の岳パノラマライン」廃止
- ・平成 18 年（2006）湯の岳山荘の管理をNPO法人いわきの森に親しむ会になる

【台風 13 号豪雨災害支援に国際ボランティア学生協会来る】

台風 13 号の災害支援に国際ボランティア学生協会（IVUSA）の学生が湯の岳山荘にきました。国際ボランティア学生協会では活動の中に災害救援があり、今回、被害の大きかった内郷内町地区の災害支援に来たものです。

第 1 陣は 9 月 29・30 日に 40 人が、続く 10 月 6・7 日に 65 人が来荘し、計 105 人が 2 日間、延べ 210 人が山荘では足りずバンガローも利用しました。現地災害支援には 105 人が 3 日間、延べ 315 人が災害支援をしてくれました。感謝の限りです。

驚くことは、初日は東京を 4 時に出発し、8 時から 17 時まで作業し、2 日目も、帰る 3 日目も 8 時から 17 時まで災害支援をしてくれました。こんなにも若くたくましい支援は他にはないのではと思います。持参品には 5 升焚きの釜をはじめ調理器具や食器も持参し完結型で、地元には一切負担をかけないようでした。車は 10 人乗りのハイエースできました。遠くは関西から 8 人の参加がありました。

4 年前の夏井川氾濫の時もこの団体が支援にきて湯の岳山荘に泊まりました、

地球温暖化が進むなか、いつ今回のような災害が起こるかも知れません。湯の岳山荘がはたす役割が災害時に大いに発揮されることが今回のことでもわかりました。

改めて、湯の岳山荘を残したいとの思いを強くいたしました。関係する機関の皆さんにもぜひ理解してくれるよう切に望みます。

○国際ボランティア学生協会とは

1993 年に設立された学生中心のボランティア団体で、所属大学数 80、学生数 2,500 人が、次の 5 つの分野を軸に稼働している。

- ① 国際協力 ②環境保護 ③災害救援 ④子どもの教育支援 ⑤地域活性化



【森林整備班の活動報告】

1 定例活動

年々草刈り範囲が広くなり、作業が間に合わない状況です。

(2023.7.1～9.30)

月/日	曜日	天候	作業事項	参加者 (名)
7/1	土	晴	池周囲草刈り	5
5	水	晴	山荘周辺草刈り	3
12	水	晴	植樹祭会場草刈り	6
15	土	曇	〃	6
19	水	曇	〃	4
26	水	晴	〃	6
8/2	水	晴	自然観察路草刈り	4
5	土	晴	クヌギ支柱ひも結びなおし	5
9	水	曇	〃	5
16	水	晴	お盆休み	
19	土	晴	自然学校「丸太切り体験」	4
23	水	曇	栗園跡地道路草刈り	4
30	水	晴	山荘周辺草刈り	4
9/2	土	晴	〃	4
6	水	曇	クヌギホット苗草取り、観察路整備調査	3
13	水	晴	山荘周辺草刈り	8
16	土	晴	〃	9
20	水	晴	〃	3
27	水	晴	広場草刈り	4
30	土	晴	植樹祭会場草刈り	4

(記：木田)



【農業班の活動報告】

1 活動報告（7～9月）

今年は、猛暑が続き、体調が悪くなった方が何人か出て大変な夏でした。いずれも軽症だったので安心しました。作業時間を短くし、ブルーシートで日陰を作り休憩を多くしました。暑さと日照りで枝豆は実を付けませんでした。秋野菜の種まきも1カ月遅れになってしまいました。そんな中でもスイカは成長が良く、休憩時にはスイカの水分と甘みを充分に取れました。自然相手の農業は難しいことをつくづく思われます。

(2023.7.1～9.30)

月/日	曜日	天候	作業事項	参加者 (名)
7/3	月	晴	枝豆、ニンジン収穫、草刈り	7
8	土	小雨	ハウス内草引き、ピーマン追肥	7
10	月	晴	ネギ草引き、道路草刈り	8
17	月	晴	落花生草引き	7
22	土	晴	ネギ土寄せ、枝豆収穫	8
24	月	晴	カボチャ、エゴマ草引き	7
31	月	晴	ミニトマト草引き、スイカ収穫、草取り	7
8/7	月	晴	トマト、ピーマン収穫、草取り	9
12	土	晴	お盆休み	
14	月	晴	〃	
21	月	晴	白菜用畝づくり、ピーマン収穫	9
26	土	晴	ブルーベリー追肥、草取り	10
28	月	晴	ブルーベリー選定、草取り	8
9/4	月	雨	ハウス内草引き、スイカ収穫	5
9	土	雨	ポットに白菜種まく	1
11	月	晴	白菜の種まく、ピーマン収穫	8
18	月	晴	大根の種まき	9
23	土	雨	ハウス内玉ねぎ、小松菜、ハウレンソウ種まき	2
25	月	晴	白菜、カブ種まき	8

(記：鈴木邦)



【台風 13 号で壊れた水車の修理】

9 月 8 日に襲った台風 13 号の被害は湯の岳山荘でもありました。土砂崩れが 2 ヶ所、そして水車の樋桶が 1/4 流されてしまいましたが、木工班により 10 月 3 日修理してもらいました。



【木工班（男性）の活動報告】

男子はいつもの通り自由製作です。ロクロで菓子器やお椀など。それと椅子や額縁、根付けと色々楽しんでます。

大作は、織原さんの「コタツ」です。これは、収納箱を椅子にした椅子型のコタツです。とてもユニークで、実物を見ないとわかりませんが、実用的な作品です。 (記：野木)



【木工班（女性）の活動報告】

6 月に、トトロの松ぼっくりの交換を実施しましたが、なぜか7月中旬頃よりあちこちに松ぼっくりの脱落が見受けられるようになりました。

脱落した松ぼっくりを確認したところ、固定したビニールタイの溶着樹脂の強度不足？と判断し、解決策として松ぼっくりを細い銅線でからめて固定する準備作業をしています。

他に、薄い平板で鍋敷きと、ドイツトウヒ（松科）の細長い松ぼっくりを利用してツル？を作りました。

(記：佐藤勝)



【観察班の活動報告】

◎スキルアップ研修

1 令和5年7月2日（日）（晴） 旧289号線道（田人）

とても暑い日でしたが、旧道に入っていくと木陰が多く、観察しながら歩くのには助かりました。いわき市では、なかなか見ることが出来ない『オヒョウ』の木、又『オオバアサガラ』の木が多いのにはびっくりでした。常緑樹が少なく、カエデの種類が12種と多く、秋の葉が色づく頃には、見事な紅葉が見られることでしょう

2 令和5年8月6日（日）（晴） 十国堀ハイキングコース（北茨城）

『十国堀』・・・令和元年9月に「世界かんがい施設遺産」に登録。整備された遊歩道を観察することが出来ました。スダジイ・アカガシ・ウラジログシなどの常緑樹やヤブミョウガ・イワタバコの花が見頃でした。

※旧289道は『落葉樹』、十国堀は『常緑樹』
植物を比較しながら、リーダーの説明を聞きながらの観察でした。



3 令和5年9月3日（日）（晴） 強滝遊歩道（鮫川村）

『ふくしま遊歩道50選』・・・渓谷沿いには、ケヤキ・カツラ他の樹木が並び、道沿いにはフクオウソウの群生。ランの仲間のミヤマウズラ・カモメヅルなど、めずらしい植物も見ることが出来ました。

◎指導者研修【楽しく学ぶ観察会】

令和5年9月9日（土）～10日（日） 湯ノ岳山荘

[講師] 植原 彰 先生 ・日本自然保護協会指導講師
・乙女高原ファンクラブ代表世話人（事務局長兼務）

前日の豪雨の影響で、スケジュールに多少の変更はありましたが、2日間の日程を終えることができました。

1日目 植原先生により 野外実習・室内講義・・・自然観察とは？ 他

2日目 グループに分かれての「ワークショップ」「自然観察会をやってみよう」と題し、20分間の観察会を行った。

2日間の研修で、改めて「自然観察とは何か？」観察するうえでの大切なことを再認識できました。研修したことを実践につなげていきたいと思えます。

（記：円谷）

【プログラム班の活動報告】

1. 学校の支援活動

今期は7月に3回、9月に3回、合わせて6回の支援を行いました。

その活動の内訳は別表のとおりです。その活動のようすは、次の写真のとおりです

学校等における学習支援活動（7/1～9/30）

No.	月 日	学校名	学年	学 習	参加者数	支援者数
1	7月 3日(月)	藤原小	3年	総合学習	21	5
2	7月 11日(火)	江名小	4年	森林官総合学習	15	6
3	7月 13日(木)	中央台北小	4年	総合学習	34	10
4	9月 6日(水)	錦東小	3年	総合学習	32	8
5	9月 7日(木)	平六小	3年	総合学習	39	10
6	9月 21日(木)	藤原小	3年	総合学習	21	8
計					162	47

2. その他の支援活動

・7月29日(土) イオン小名浜子供観察会 自然観察と木工

(齊藤 記)



【岩出の郷・稲刈り】

今年は、イノシシの侵入と強風で、稲が倒されてしまいましたが、みんなの頑張りでも何とか刈り取りが出来ました。

大人26人と子供も3人が参加してくれました。」



【ろうきん森の学校・自然体験活動の活動報告】

1 令和5年7月16日（日） 参加者38名

- (1) 自然観察会 「自然の中の宝物探し」 (2) 自然体験「太陽光で目玉焼き」
(3) 木工クラフト「小物入れ」 (4) 里山レストラン「夏野菜カレー」

自然観察会では、ネイチャーゲームをしながら、形や大きさ、色など多様な自然を詳しく観察し、自然の中の宝物を見つけました。

自然体験は、太陽光の熱を利用した「目玉焼き作り」。目玉焼きができる様子にびっくり！

木工クラフトは、木材のパーツを組み合わせて、「小物入れ」を作りました。



2 令和5年8月20日（日） 参加者29名

- (1) 自然観察会 「セミの抜け殻を集めよう」 (2) 木工クラフト「竹の水鉄砲」
(3) 里山レストラン「五目チラシご飯」

自然観察会では、たくさんのセミの抜け殻を見つけ、抜け殻の特徴から、種類を調べました。アブラゼミの抜け殻が多く見つかりました。

木工クラフトは、手作りの水鉄砲作り。キリで穴をあけたり、差し込み棒の幅を調節したりと、親子で協力して完成し、楽しく遊びました。



3 令和5年9月17日（日） 参加者36名

- (1) 自然観察会 「虫むし大作戦！」 (2) 自然体験「花炭作り」
(3) 木工クラフト「松ぼっくりのけん玉」 (4) 里山レストラン「まぜご飯」

自然観察会では、虫クイズ・捕虫網の使い方を学んだあと、広場で虫捕りスタート！すぐに虫かごがいっぱいに！研修室に戻って、採集した虫の種類を調べました。最後にお気に入りの虫の絵を描いて、缶バッチにしました。

自然体験は、「花炭作り」。いろいろな植物や実で挑戦し、綺麗な花炭ができました。



【湯の岳自然学校 in いわき・活動報告】

1 令和5年7月29日（土）いわき公園・夜の生きもの観察会

子供10名、大人12名、スタッフ8名

今年も沢山の参加者で人気の観察会。歩きはじめて早々に「セミの羽化」の様子が見られ、子どもも大人も大喜び。完全に羽化したセミの羽根は透き通っていて「きれい！！」の一言。羽化には2～3時間かかるのを、歩きながらあちこちで見られ、まるで「自然の観察ショー」を見ているような感じがしました。
子どもたちにとっても良い観察になったと思います。



2 令和5年8月19日（土）（丸太切り体験・整備班）

(1) 実施内容

コブシの株立ち2本を親子で切りました。その後、切った木を森の工房に運び、コースターを作りました。

(2)参加者数 2家族7名



3 令和5年9月16日（土）（木工工作・木工班）

(2) 実施内容

木琴の原型のリュールシロフォンを作りました。中にドングリやビー玉を入れて回すとリズムカルな音が出ました。

(2)参加者数 1家族3名

(記：木田)



【第 49 回いわき市植樹祭】

9月2日（土）に「第49回いわき市植樹祭」が開催され、木田理事長が参加しました。植樹祭はコロナの影響で4年ぶりの開催となり、会場の新舞子ハイツ東側市有地にクロマツ 300本を参加者約230人で植樹しました。



(発行) NPO 法人 いわきの森に親しむ会
(発行責任者) 木田 章一
(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp

HP: <https://iwaki-mori.jimdo.com/>